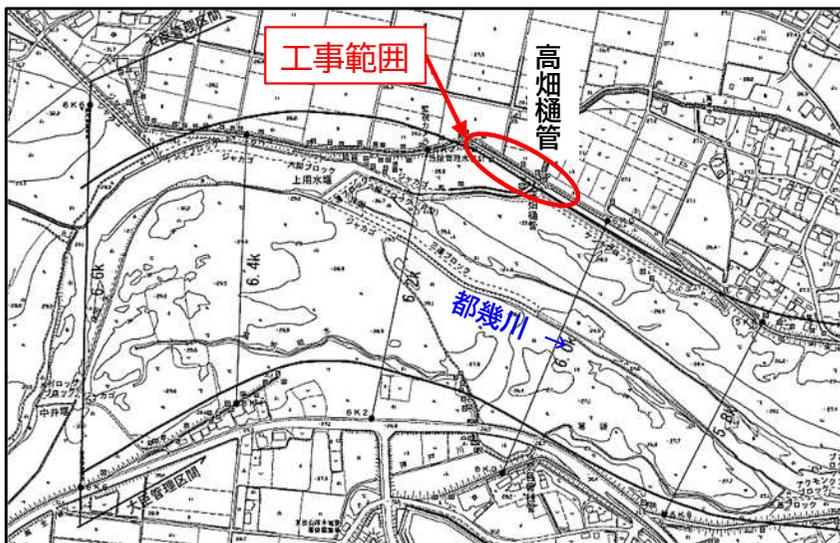


斜め写真

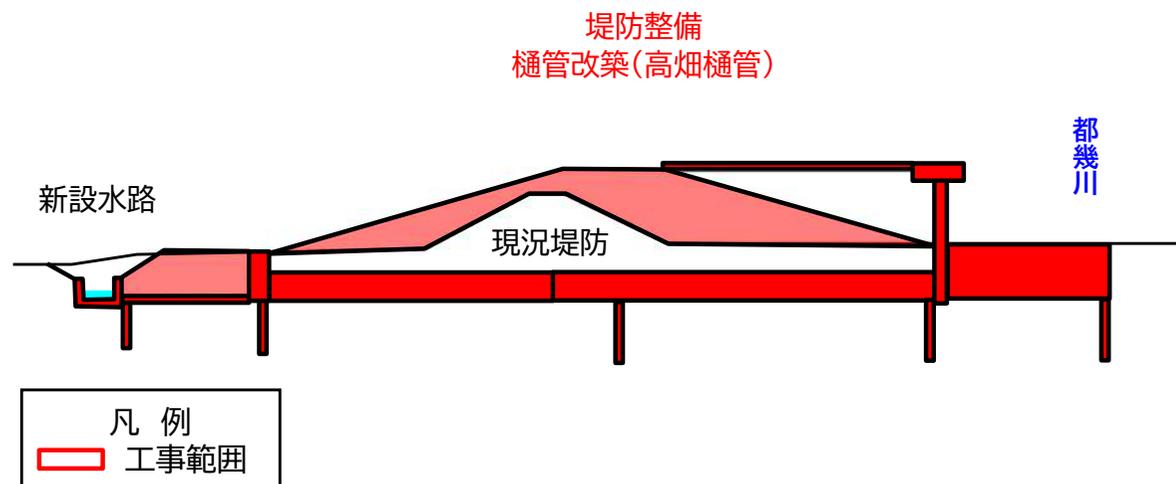


○着 手:令和4年4月
○完了予定:令和6年3月末

平面図



標準断面図



工事の目的

堤防の高さと幅が不足する区間における堤防整備と樋管改築。



写真① 樋管から上流方向

「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより

主な環境情報

- ・調査範囲内は、主に草地と竹林で構成されてる。
- ・堤防の草地には、カラシナ、ネズミムギなどの外来植生が優先し、オオカワヂシャ、アレチウリも生育している。在来植物では、ウマノスズクサ、カズノコグサなどが確認されている。河道際には湿生草地があり、重要種(植物)が確認されている。
- ・動物では、ウグイス、ホオジロなどの鳥類、ハグロトンボ、アオスジアゲハなどの昆虫類が確認されている。水辺では、カワセミも確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施する。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有する。